



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社

コード番号 7775 URL <https://www.daiken-iki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 圭一

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 多久和 良 TEL 0725-30-3150

四半期報告書提出予定日 2023年11月1日 配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,824	8.3	745	23.2	750	24.0	537	25.2
2023年3月期第2四半期	4,454	9.0	605	7.0	605	7.0	429	7.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	18.72	—
2023年3月期第2四半期	14.94	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,248	6,824	60.4
2023年3月期	11,013	6,597	59.7

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 6,797百万円 2023年3月期 6,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2024年3月期	—	9.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	11.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	5.1	1,300	23.3	1,300	23.4	900	26.4	31.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	31,840,000株	2023年3月期	31,840,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,111,561株	2023年3月期	3,111,561株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	28,728,439株	2023年3月期2Q	28,728,441株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

また、当社は、2023年12月1日(金)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和を契機として、社会経済活動の正常化が着実に進み、ゆるやかながら回復基調で推移いたしました。しかしながら、各国の金融引き締め・中国経済の先行き不安による世界的な景気後退懸念、円安の進行による物価上昇、ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギー価格の高騰の影響により、企業を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、物資の高騰や医療従事者の慢性的な人手不足等、各医療機関の経営環境はより一層厳しさが増ってきており、医療現場においてより効率的で効果的な医療サービスを提供できるような製品供給体制が望まれております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、医療現場と密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

① 売上高

売上高は、4,824百万円(前年同期比8.3%増)となりました。これは主として、手術件数の堅調な推移により、主力製品である吸引器関連(フィットフィックス、キューインポット)の販売が好調に推移したこと等によるものです。

② 営業利益

営業利益は、745百万円(前年同期比23.2%増)となりました。これは主として、原油価格高騰や急激な為替変動によるコスト上昇要因があるものの、売上高の増加により売上総利益が増加したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は、750百万円(前年同期比24.0%増)となりました。これは主として、営業利益が増加したこと等によるものです。

④ 四半期純利益

四半期純利益は、537百万円(前年同期比25.2%増)となりました。これは主として、経常利益が増加したこと等によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前事業年度末に比べて264百万円増加し、6,903百万円となりました。これは主として、現金及び預金が141百万円、電子記録債権が55百万円、原材料が32百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて29百万円減少し、4,345百万円となりました。これは主として、長期前払費用(投資その他の資産「その他」)が5百万円増加したものの、有形固定資産が33百万円、無形固定資産が1百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

② 負債

流動負債は、前事業年度末に比べて237百万円増加し、3,607百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が22百万円減少したものの、短期借入金が200百万円、未払金(流動負債「その他」)が35百万円、未払消費税等(流動負債「その他」)が24百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ229百万円減少し、817百万円となりました。これは主として、長期借入金219百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

純資産は、前事業年度末に比べて227百万円増加し、6,824百万円となりました。これは主として、利益剰余金が剰余金の配当により316百万円減少したものの、四半期純利益を537百万円計上したこと等によるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて141百万円増加し、2,657百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、602百万円(前年同期254百万円増)となりました。これは主として、棚卸資産が63百万円増加し、法人税等を197百万円支出したものの、税引前四半期純利益を750百万円、減価償却費を104百万円それぞれ計上したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、110百万円(前年同期比6百万円増)となりました。これは主として、有形固定資産の取得により110百万円支出したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、350百万円(前年同期比130百万円減)となりました。これは主として、長期借入金の返済に229百万円、配当金の支払いに315百万円それぞれ支出したものの、短期借入金を200百万円調達したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は本日同時に開示しております「業績予想値と決算値の差異に関するお知らせ」に記載のとおり、主に研究開発費等の販売管理費の下期へのずれ込みにより営業利益、経常利益、当期純利益ともに上振れいたしました。通期では予定通りの発生となる見込みであることから、現時点では、2023年3月期決算短信(2023年5月15日公表)に記載いたしました通期業績予想に変更はありません。今後の業績動向により、変更が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,516,212	2,657,507
受取手形及び売掛金	1,300,880	1,298,684
電子記録債権	1,229,646	1,285,306
製品	1,004,266	1,016,134
仕掛品	88,420	106,859
原材料	422,011	454,950
その他	77,217	83,750
貸倒引当金	△94	△94
流動資産合計	6,638,560	6,903,097
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,861,600	1,818,757
土地	1,703,670	1,703,670
その他(純額)	504,967	513,818
有形固定資産合計	4,070,238	4,036,247
無形固定資産	9,406	8,187
投資その他の資産		
繰延税金資産	230,596	230,596
その他	89,253	95,216
貸倒引当金	△24,650	△24,650
投資その他の資産合計	295,198	301,161
固定資産合計	4,374,843	4,345,596
資産合計	11,013,404	11,248,693

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	549,495	527,249
電子記録債務	626,308	637,161
短期借入金	1,000,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	659,972	649,972
未払法人税等	242,047	234,940
未払費用	70,312	73,573
その他	221,329	284,283
流動負債合計	3,369,464	3,607,181
固定負債		
長期借入金	1,013,395	793,409
その他	33,397	23,786
固定負債合計	1,046,792	817,195
負債合計	4,416,257	4,424,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	400,875	400,875
利益剰余金	7,506,089	7,727,753
自己株式	△1,826,583	△1,826,583
株主資本合計	6,576,256	6,797,920
新株予約権	20,890	26,396
純資産合計	6,597,146	6,824,316
負債純資産合計	11,013,404	11,248,693

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,454,775	4,824,637
売上原価	2,613,071	2,831,332
売上総利益	1,841,703	1,993,304
販売費及び一般管理費	1,236,682	1,247,989
営業利益	605,021	745,314
営業外収益		
受取利息	0	0
受取補償金	733	1,664
為替差益	711	2,234
未払配当金除斥益	261	307
スクラップ売却益	—	2,188
雑収入	271	910
営業外収益合計	1,978	7,305
営業外費用		
支払利息	1,971	2,407
その他	—	0
営業外費用合計	1,971	2,407
経常利益	605,028	750,213
特別損失		
固定資産除却損	50	57
特別損失合計	50	57
税引前四半期純利益	604,978	750,156
法人税等	175,694	212,480
四半期純利益	429,284	537,676

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	604,978	750,156
減価償却費	146,240	104,185
株式報酬費用	6,963	5,505
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	1,971	2,407
売上債権の増減額(△は増加)	△74,569	△53,463
棚卸資産の増減額(△は増加)	△109,998	△63,245
仕入債務の増減額(△は減少)	22,697	18,173
固定資産除却損	50	57
未収入金の増減額(△は増加)	△1,430	5,538
未払金の増減額(△は減少)	△7,742	47,331
未払費用の増減額(△は減少)	△5,041	3,260
未払又は未収消費税等の増減額	△28,025	24,725
その他	△10,002	△42,339
小計	546,090	802,293
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△1,934	△2,488
法人税等の支払額	△195,526	△197,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	348,629	602,718
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△103,087	△110,958
無形固定資産の取得による支出	△1,100	—
差入保証金の差入による支出	△312	△180
差入保証金の回収による収入	466	196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,033	△110,942
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△368,238	△229,986
配当金の支払額	△306,762	△315,557
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	200,000
リース債務の返済による支出	△5,657	△4,937
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△480,658	△350,481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△236,061	141,294
現金及び現金同等物の期首残高	2,518,589	2,516,212
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,282,527	2,657,507

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の実績につきましては、当社の製品群別に記載しております。

① 生産実績

製品群	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
吸引器関連	1,751,045	+6.6
注入器関連	684,190	△2.6
電動ポンプ関連	89,256	+135.6
手洗い設備関連	133,176	+4.5
その他	106,720	△3.4
合計	2,764,389	+5.5

(注) 金額は製造原価によっております。

② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③ 販売実績

製品群	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
吸引器関連	3,074,816	+7.8
注入器関連	1,030,160	+2.3
電動ポンプ関連	132,587	+47.2
手洗い設備関連	333,725	+15.5
その他	253,347	+17.1
合計	4,824,637	+8.3